



出羽氏の歴史と毛利氏との関わりについて

田所公民館休館中に調べてみました。内容がおかしな箇所もあるかもしれませんが、興味を持っていただけると幸いです。

出羽氏の歴史は古く、鎌倉時代に遡ります。ちょうど今年の1月からNHKで放送されている大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の時代になります。

出羽氏の祖である富永祐純は、近江国三上荘の荘官を務めておりました。ー80年に源頼朝が挙兵したことに味方し富永祐純も平家に反旗を翻しましたが、この挙兵は平家によって平定され、これにより富永祐純は石見国邑智郡久永荘に流罪となりました。その後ー85年に壇ノ浦合戦で平家が滅亡すると源氏の天下となり、佐々木定綱が石見国守護に補任されました。富永祐純は佐々木定綱によって久永庄および出羽郷の地頭職に取り立てられ瑞穂・石見両郷の支配をすることとなりました。富永祐純は豊かな農地と鉱物資源に恵まれ、山陰・山陽を結ぶ要所である出羽郷を本拠地と決め、出羽の地名を名乗り、姓を出羽氏としました。

そして領地が広がり財政が豊かになっていくと、この地を守るために城を築く必要が出てきました。出羽祐純は長男の出羽朝祐に家督を譲る際に居城を築くように言い残します。

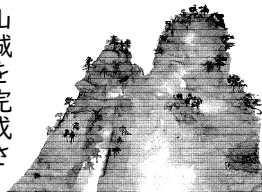
家督を継いだ二代目の出羽朝祐はー223年に居城となる二ツ山城を完成させました。当時の城は現在の南出丸のあたりにあったようです。

出羽氏は鎌倉幕府の恩恵を受けながら統治していましたが、鎌倉幕府がー333年に倒れます。その後、北朝武家方(京都の朝廷)の足利尊氏方と南朝宮方(吉野の朝廷)の後醍醐天皇方が決裂し戦いが始まりました。

しばらく内乱が続く中、出羽氏は北朝武家方に味方し各地を転戦してまいりました。本拠地の二ツ山城には当主である出羽実祐が居城し、支城の地頭所城(美郷町君谷湊)を子の出羽祐忠が守っていました。

その頃、出羽氏と同じ北朝武家方であり阿須那を治める高橋氏とは領界を接していたため日頃から争いが続いており、戦力に勝る高橋氏は出羽氏に侵攻する大義名分のある機会を狙っていました。

そんな中、ー361年に南朝宮方の足利直冬が、石見の国人衆に味方になるよ



う呼びかけたところ、これに応じたのが高橋氏の高橋師光。好機到来と勇んで足利直冬に味方することとし、すぐに南朝宮方として北朝武家方の出羽氏領に侵攻しました。高橋氏の出羽侵攻は半年余り続き、出羽実祐は次第におされ二ツ山城に押し込められると高橋氏は火を放って山を焼き尽くし出羽実祐は火中で自刃して果てました。この火事で出羽氏に関する貴重な資料なども焼失してしまいました。

二ツ山城を落とした高橋氏は瑞芽峠を挟んで本城を築き居城としました。その後、安芸国・備後国にも勢力を拡げています。また、二ツ山城落城で出羽氏の落ち目を見た周辺国人衆は、出羽氏の領地、邇摩・那賀両郡に散在していた出羽氏領に侵攻し、邑智郡井原・中野方面にあった領地には、小笠原氏・福屋氏が侵攻しました。

出羽氏は当主の出羽実祐を亡くしましたが、子の祐忠は地頭所城に籠って佐波氏からの攻撃を退け領地を確保し、君谷(美郷町)が出羽氏の本拠となりました。しかし領地のほとんどを失い、名誉を傷つけられた出羽氏の失地回復運動がここから始まります。

その後ー392年に南朝宮方が北朝武家方に吸収され南北朝の対立が終わります。その時、周防の守護大名であり南北朝和平に協力した大内義弘が出羽氏の訴えを聞き『出羽領七百貫のうち二百五十貫を高橋氏に返還させること』『出羽氏は宇山に城を築き居城とすること』の調停案を出しました。それでも出羽氏は本拠地や膨大だった領地も奪われたままの調停案であり、とても納得できないものの受け入れるしかなく、当主の祐忠は君谷から出羽郷に戻り、宇山城(邑南町原村)を築き居城としました。出羽氏家中では昔の領地を取り戻すと改めて心に誓いました。

そして宇山城だけではいつ攻め込まれるかもしれないと、防御の為に周囲に毛城、赤城、白鹿城の山城の砦群を築き、麓には信友城、樹光城など築き守りを固めました。同時に刀剣を作り売ることによって豊富な資金力を持つようになり、軍事力の強化に必死で取り組み、次第に戦国時代に相応しい武力を持つ武門の家となりました。そして出羽氏は毛利氏の台頭にともない急速に毛利氏に接近していきます。

続く

3月号では、毛利氏の家系図と合わせて紹介していきます。



出羽氏家紋

第12講

文士さんと楽しく体を動かそう！

女性セミナー第12講では1月に中止になった「文士さんと楽しく体を動かそう！」を下記の日程で復活させて開催します。

元気館トレーニング室室長の三宅文士さんをお招きします。みんなで楽しく身体を動かしましょう。

お誘い合わせの上ご参加ください。

○日 時 3月10日(木) 13:30~15:00

○開催場所 田所公民館大ホール

○持参品 タオル・飲み物

○参加費 300円

○定員 20名

○締切り 3月4日(金)

※詳細は公民館にお問い合わせください



スマホのカメラ機能を使ってQRコードを読み取ることが出来ます。

また、どがあずしよう会では左記のQRコードを作りました。インスタをシェアしていただいたり、投稿している写真を見るだけでもご利用ください。



QRコードをご利用ください

☆どがあずしよう会☆

Instagram始めました



どがあずしよう会ではイベントのお知らせや成果を、今後はInstagramを活用して発信していきます。

Instagramとは、写真や動画を共有することができるアプリです。持っておられるスマホがiPhoneであればAPPストアから、AndroidであればGoogle Playストアから無料でダウンロード出来ます。ただしアカウントを作成するにあたって、電話番号やメールアドレス、誕生日などの入力が必要になります。興味のある方はこの機会にぜひ始めてみてはいかがでしょうか。

また、どがあずしよう会では左記のQRコードを作りました。インスタをシェアしていただいたり、投稿している写真を見るだけでもご利用ください。

☆集落じげ自慢紹介☆

朝原く牛塚古墳群



中古墳時代後期(6世紀後半)の円墳3基からなる古墳群です。いずれも横穴式石室を主体としていますが、この地域の古墳としては比較的大型の石室となっています。

一号墳は石室の内部に入ることができ、その構造を観察することができます。



道の駅瑞穂再開発について

おおなんケーブルテレビで石橋町長が説明をされている番組をご覧になられた方も多いと思います。本来であれば各地区で説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため番組放送となりました。

道の駅瑞穂が令和7年度に「島根県の南の玄関口」として、「邑南町12地区を結ぶ地域づくりの拠点」として生まれ変わります。

令和4年度からは、いよいよ国道工事や敷地造成工事が始まります。

新しい道の駅は駐車台数は約2倍、産直市は3倍、飲食スペースは5倍となり下の写真の場所に新築されます。

全体の事業費は29億円、邑南町の負担金は約5億円ですが、完成すると町全域へ大きな経済波及効果をもたらす集客施設となります。



白い点線内が 新道の駅瑞穂 整備計画予定地です

小河内くみんなが集える場所「縁」

西林坊の澤田さんが切り盛りされている民泊「縁」。きっかけは、近所で都会に嫁がれた娘さんが年に1、2度盆踊りとかで帰って来られてたけど、実家が無くなり帰ってくる場所が無く、ここ数年見えていない...。自宅が無くなって帰れなくなった人がいるんだな...。と思った時、誰もが集える！泊まれる！こういった場所を作りたいと思われたそうです。

リフォームも友人たちの手伝いでほぼ自分たちで行い、若いお母さんたちが子連れでも安心して過ごせるようにガラスを全て割れにくいアクリル板に替えるなど、こだわって作られています。

地元同志の集い！都会から帰省した同級生との集い、宿泊！小河内にみんなを繋ぐ交流拠点となる「縁」。



中組く中組集落まつり

中組集落では、1991年から5年おきに「中組集落祭り」を開催しています。それに合わせ集落の全員が真清寺に集合して記念写真を撮っており、現6枚が集会所に飾ってあります。集落人口は減少傾向ですが、転入等もあり、次回2023年(予定)の集合写真がどのようなものになるか楽しみにしています。



- 主な行事予定 -

- 3月 -

3日(木) いちもくクラブ 19:00~

9日(水) 瑞穂中学校卒業式

10日(木) 女性セミナー

10日(木) にもくクラブ 19:00~

12日(土) 社会教育フォーラム(元気館)

18日(金) 瑞穂小学校卒業式

24日(木) 瑞穂小学校・瑞穂中学校修了式

26日(土) 東光保育園卒園式



主事のひとりと...「出羽氏」

出羽氏の歴史は非常に興味深いですね。次号3月号には毛利元就の六男で、出羽氏の養子になった元俱(もととも)が登場します。元俱が亡くなって450年。現在、秋に向けて記念イベントを計画中ですので、詳細が決まりましたらお知らせします！

田所地区の人口 (1月末)	
男性	797人
女性	939人
合計	1736人
高齢化率	44.23%